



鈴木貴也

(テニスサポートセンター三鷹店)
プロやアマを問わず、常に最高のクオリティを提供することを心掛ける。ストリンガー歴9年。「なんでも相談してください」と語る

ストリングの基礎知識

第46回

知っているようで、あまり知られていないストリングのこと。このコーナーでは、読者から寄せられた素朴な疑問を、プロのストリンガーに答えてもらいました。皆さんのテニスライフ向上に役立ててください

ストリングの素材とナイロンの種類について

ストリングにポリエステル、ナイロン、ナチュラル以外の素材の種類はありますか？

(テニス歴10年/40代男性)

樹脂やシリコン、ポリウレタンなど様々

主にストリングに使用されている素材はポリエステル、ナイロン、ナチュラルですが、それ以外にもストリングには様々な素材が使われています。

例としては『芳香族ポリアミド系樹脂』、『PEEK』、『ポリウレタン』、『シリコン』などです。『芳香族ポリアミド系樹脂』は米国デュボン社の『ケブラー』というストリングに使われています。ラケットにも使われる素材で、耐久性が非常に高いストリングを作ることができるのですが、打感が硬いことから敬遠されて、今ではほとんど使われなくなりま

ウィニングショットの『シリコンツアー』は、ポリエステルにシリコンを融合させている



シリコンツアーの断面図

した。

『PEEK』ですが、ポリアミド合成樹脂から作られているナイロンの周りにこの素材をつけることにより耐摩耗性を上げることができま

『ポリウレタン』は、外糸の加工に使うことで、ストリングにしなやかさをプラスすることができます。素材、『シリコン』は、浸透させたり、表面に使用したりすることで、糸の滑りを良くする素材です。

ちなみに、最近、使われることが多いポリに関してですが、ベースとなる素材『ポリエチレンテレフタレート(PET)』に他のポリ素材を組み合わせることでより柔らかさ、強度等を調整して様々な種類のストリングを作っています。ポリといってもポリ袋に使われている『ポリエチレン(PE)』は別の物なので種類が違います。

ナイロンのストリングにも様々な種類があると思います。それぞれの特徴を教えてください。

(テニス歴3年/20代女性)

打感が硬めな『モノ』と柔らかめな『マルチ』

ナイロンのストリングの種類(構造)は、大きく分けると『モノ』

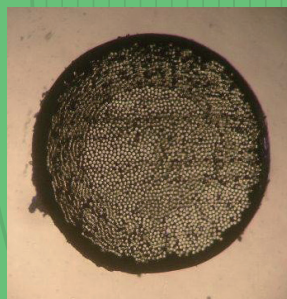
『モノ(モノマルチ)』と『マルチ』の2タイプです。『モノ』は中心に芯糸があり、周りに側糸が十数本巻いてあるもの。『マルチ』は何百〜何千本の細い糸をより合わせて作ってあるものです。作り方はメーカーによって少しずつ違いますが大まかな制作過程は次の通りです。

●モノ
芯糸を成型↓側糸を成型↓芯糸に接着剤を付ける↓機械で芯糸に側糸を巻き付ける↓コーティング剤を付ける



モノ(モノマルチ)の断面図。太い芯糸の周りに細い側糸が巻き付く

●マルチ
1本が細い糸を多数成型↓接着剤を付ける↓機械で撚りながら1本の糸にする↓コーティング剤を付ける



マルチの断面図。極細の糸がぎっしり詰まって1本の糸を形成する

ストリング都市伝説

ストリングは切れない方がいい？

切れないければ張替え代もかからないのでいいと思うかもしれませんが、ストリングに耐久性を求め過ぎると、ケガをしたりラケットの破損につながったりという弊害が起きます。極端な話、金属製のワイヤーを張って

もボールは打てますが、まともに飛ばないだけでなく、ラケットのストリングホールが壊れてしまうでしょう。快適にテニスを楽しむために、ストリングは定期的に張り替えることをお勧めします。

それぞれの特徴として、『モノ』は中心に芯糸があるので打感が硬めになり、反発性が高くなります。『マルチ』は細い糸の集合体なので打感が柔らかく、反発性が低くなります。製品ごとに素材を変えたり、引張つて強度の調整をする延伸加工を行ったり、異なるコーティング剤を使用していたりするので、打感、飛び、耐久性等が変わってきます。製品のコストによっては値段の差も出るでしょう。

募集中

ストリングに関する質問を募集しています。年齢、性別、テニス歴を記入し、〒113-8448 東京都文京区本郷2-33-5 日本スポーツ企画出版社スマッシュ編集部「ストリング基礎知識」まで。質問が採用された方には、テニスサポートセンターより、ストリングをプレゼントします。